

文化・芸術の秋を満喫

市内各所で文化祭

市内各所で文化祭が開催され、たくさんの市民でにぎわいました。

11月3日、4日の両日には、中央公民館、市民会館および中央体育館で第36回五條市文化祭が開催されました。市民会館大ホールでは、合唱や民謡、ダンスなどの舞台発表が行われ、また中央公民館、中央体育館には盆栽、生け花、小中学生の習字や図画工作などの作品が展示されました。

今回、市制施行50周年を記念して行われたオープニングイベントでは、第60回カンヌ国際映画祭でグランプリを獲得した、河瀬直美監督の「殯(もがり)の森」が上演されました。会場となった市民会館大ホールには映画を楽しみにした市民がたくさん訪れ、立ち見ができる大盛況となりました。上映後には西吉野町出身で同作品主演女優の尾野真千子さんが舞台上に登場。会場を埋めた観客にはサプライズなプレゼントとなりました。



会場を沸かせた尾野真千子さん



作品の展示



舞台発表



小中学生の作品展

大塔でも「いきいき文化祭」

また11月3日には大塔町のふれあい交流館で「第11回大塔いきいき文化祭」が開催され、地域住民や保育園児、小中学生が制作した作品の展示や、大正琴や小中学生の舞台発表が行われました。またバザーやもちつき、模擬店も行われ、会場を訪れた市民を楽しませました。

もちつき



保育所児童による舞台発表

県文化財保護功労者感謝状が贈られる

鬼はしり保存会前会長 萩原榮文さん

念仏寺鬼はしり保存会の前会長の萩原榮文さんに、このほど奈良県教育委員会から奈良県文化財保護功労者として感謝状が贈られました。

これは萩原さんが20年余りにわたって、重要無形民俗文化財「念仏寺陀々堂の鬼はしり」の保存会の会長として、民俗行事の保存・伝承に尽力された功績を讃えられたことによるものです。



感謝状が贈られた萩原榮文さん